

第2学年 *組 国語科 現代文 学習指導案			
平成 年 月 日 () 第 校時		2年*組教室 指導者 中原 正人	
育成する国語の能力	文章を読んで批評することを通して、人間、社会、自然などについて自分の考えを深めたり発展させたりして自分の考えを効果的に表現すること。		
単元目標	○ 他者との交流の中で自分の意見を深め、小論文を書こうとする。 (関心・意欲・態度) ○ 筆者の主張を踏まえながら、自分の考えをわかりやすく表現することができる。 (書く能力) ○ 小論文の構成を理解し、論理的な文章表現ができる。 (知識・理解)		
単元の評価規準	関心・意欲・態度	書く能力	知識・理解
	他者との交流の中で自分の意見を形成し、小論文を書こうとしている。	筆者の主張を踏まえて自分の意見を形成し、構成を工夫しながらわかりやすい文章で書いている。	小論文の構成について理解している。
取り上げる言語活動	論理的な文章を読んで、書き手の考えやその展開の仕方などについて意見を書くこと。		
題材(教材)	「大人になること」のあいまい化 小浜逸郎 探求現代文(桐原書店)		
単元(教材)について	(1)教材観： 高校生はまさに「大人になる」ことが求められ、それを意識して成長している時期でもある。本教材では近代以前と近代における子どもに対する大人のまなざしや子どものあり方が比較され、論理展開も難しくない。主張把握を進める中で生徒自身が「大人になること」を考えることができ、小論文を書くにあたり最適な教材である。 (2)生徒観： これまでの評論文の指導は主張の読み取りが中心であり、自分の問題として考える意識は低かった。また、自分の考えを小論文という形で表現することは学習していない。 (3)指導観： 評論文における筆者の主張や自分の考え・小論文作成に必要な要素をグループでの対話で確認し、構成に注意しながら小論文を作成する。		
指導計画(学習計画)	主な学習活動		主な評価
1	1 全体を音読し構成と内容を理解する。 2 近代以前と近代の子どもに対するまなざしの違いをつかむ。 3 「大人になること」の現代的な課題について理解する。 4 「大人になること」について自分の考えをまとめる。		評価 筆者の主張を踏まえ自分の考えをまとめようとしている。 (関心・意欲・態度) 評価の方法 ：ワークシートの確認 【指導の手立て】 1 教材文が近代以前と近代以降の二項対立の構成になっていることを説明する。 2 大人と子どもの「境界線」の有無が論点になっていることに気付かせる。 3 「大人になる」とはどういうことか自分の問題として考えさせる。
2	グループ活動 1 筆者の主張をどう読み取ったか発表し確認する。 2 「大人になること」が不明確になったことによる問題点について考える。 3 「大人になること」について自分の意見をまとめて発表する。 4 他者の意見を踏まえて自分の考えについて再考する。		評価 話し合いの中で筆者の主張を確認し、対話をしながら自分の意見を形成しようとしている。(関心・意欲・態度) 評価の方法 ：ワークシートの確認、発表内容・仕方を確認 【指導の手立て】 1 教材文の中での筆者の分析と主張の関係を読み取らせる。 2 「大人になる」ことが不明確になったことに起因する現代的課題について考えさせる。 3 自分は大人なのか子どもなのか考えさ

		<p>せ，そこから「大人になる」ことについて意見をまとめる。</p> <p>4 他者の意見を聞いて改めて考え直すことがあれば自分の意見をまとめ直す。</p>
3	<p>グループ活動</p> <p>1 小論文の構成について確認する。</p> <p>2 小論文を実際に書く場合の注意点を発表し合う。</p> <p>3 下書き用ワークシートを利用し，段落構成や表現に工夫しながら下書きを作成する。</p> <p>4 添削し合う。</p>	<p>評価 小論文の構成について理解し，表現に留意しながら下書きを完成させる。（知識・理解）</p> <p>評価の方法：ワークシートの確認</p> <p>【指導の手立て】</p> <p>1 段落構成について考えさせる。</p> <p>2 わかりやすい文章とわかりづらい文章を比較させる。</p> <p>3 段落の要点を絞らせて主張・根拠・説明・例などを考えさせる。</p>
4	<p>1 小論文を作成する。</p> <p>グループ活動</p> <p>2 小論文を回し読みする。</p>	<p>評価 自分の意見を形成し，その根拠や説明について，小論文の構成を工夫しながらわかりやすい文章で書いている。（書く能力）</p> <p>評価の方法：小論文の確認</p> <p>【指導の手立て】</p> <p>1 教材文における筆者の主張を取り込めているか確認させる。</p> <p>2 段落構成を考えながら自分の意見を根拠や説明とともにきちんと述べているか確認させる。</p>

本 時 案 (第2時)

本時の目標 他者との交流の中で自分の意見を形成し小論文を書こうとする。（関心・意欲・態度）

学習活動	指導上の配慮事項など	評価・方法など
1 本時の目標を確認する。	1 本時の目標を提示する。	
<p>グループでの話し合いのなかで自分の意見を形成し，小論文執筆の準備をしよう。</p>		
<p>2 筆者の主張をどう読み取ったか発表し確認する。</p> <p>グループ活動</p> <p>(1) 各自が読み取った筆者の主張を確認する。</p> <p>(2) 他者が読み取った主張を自分のものと比較し，グループのなかでまとめる。</p>	<p>2 グループ（1班4人）を作らせる。筆者の主張を発表させ確認する。</p> <p>・話し合いの様子を観察して教材文の内容を理解できていないグループには，筆者の分析と主張の関係について説明する。</p>	
<p>3 「大人になる」ことが不明確になったことによる問題点を考える。</p> <p>グループ活動</p> <p>各自発表する。</p>	<p>3 「大人になる」ことが不明確になったことに起因する現代的課題について考えさせる。</p> <p>・身体的・精神的・経済的などの面から大人について考えさせ，メディアなどで問題にな</p>	

<p>4 「大人になること」について自分の意見をまとめて発表する。</p> <p>グループ活動</p> <p>(1) 意見をワークシートに記入して発表する。</p> <p>(2) 他者の意見を聞きワークシートに記入する。</p> <p>(3) 「大人になる」こととはどういうことなのか話し合う。</p> <p>5 他者の意見を踏まえて、自分の意見について再考する。</p> <p>6 次時の予告を聞く。</p>	<p>っていることを挙げさせる。</p> <p>4 自分は大人なのか子どもなのか考えさせ、そこから「大人になる」ことについて意見をまとめさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他者の意見を聞きワークシートに記入しながら自分の意見との違いを見付けさせる。 ・自分の意見についてワークシートに記入されているか確認する。 ・話合いの様子を観察しながら、適宜助言する。 <p>5 他者の意見を聞いて改めて考え直すことがあれば自分の意見をまとめ直すよう促す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小論文の中心となる部分なので、根拠や説明にあたるまで考えさせる。 ・他者の意見を聞いてワークシートに記入しているか確認する。 ・他者の意見を参考にして自分の意見を深めようとしているか注意する。 <p>6 次時は、小論文の下書きをすることを伝える。</p>	<p>〈評価規準〉 他者との交流の中で自分の意見を形成し小論文を書こうとしている。</p> <p>(関心・意欲・態度)</p> <p>○評価方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートの記入内容 ・話合いの様子を観察 <p>自分の意見についてワークシートに書けない場合は、他者の意見と比べ、自分の意見との違いに気付かせ、書くようにながす。</p> <p>〈評価規準〉 他者の意見を参考にして、より深みのある論拠となる部分をつくろうとしている。(関心・意欲・態度)</p> <p>○評価方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートの記入内容 ・観察 <p>自分の意見を深められない場合は、根拠や説明の部分に再度注目させ、適切かどうかを見直させる。</p>
--	---	--